



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 中村 雅典
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



巻頭言

教育委員長 美島 健二

このところめっきり日足が短くなり、まさに冬の近づきを感じるようになりました。毎年この季節になると、学生さん達がインフルエンザなどで授業を欠席することなく、つつがなく定期試験や卒業試験を乗り越えていくことを祈りながら感染症の速報である【感染症エクスプレス@厚労省】のお知らせをチェックしております。この季節、厚生労働省は「咳エチケット」に関する啓蒙活動を行っており、人混みで咳をする際のエチケットについて呼びかけを行っています。その内容は、咳やくしゃみが出る時はマスクを着用する、ないしはティッシュで口と鼻を押さえて、他の人から顔を離す。また、咳をしている人にはマスクの着用をお願いするといったものです。私も教員も、喉の調子がおかしいなと感じたら、特に授業の際には心がけたいと思います。さて、D2は先日、後期中間試験が終わり年明けの後期定期試験、2月の進級試験、D3は、1月の後期定期試験、2月の進級試験、D4は、12月の後期定期試験、年明けの進級試験、続いてCBT、2月のOSCE、D5は2月の定期、進級試験、3月のiOSCA、D6は、年明けの卒業試験Ⅲ、いよいよ最後の卒業関門である卒業判定Ⅱへと進むわけです。これから、試験シーズンの到来に向けて、手洗い、うがいを徹底し、しっかり体調を整えベストの状態に、余裕を持って試験を乗り越えていってくれるものと期待しております。



ポジウムと特別講演2題、教育講演2題、連携校からの演題2題で企画され、学内外から多くの参加をいただきました。

初日は岡山大学 窪木拓男歯学部長に「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革のねらいと実施状況」と題して、超高齢社会を迎えた我が国の歯科医療の現状と本コンソーシアムのねらいについてご講演いただきました。本講演は歯学部4年生が聴講しており、近い将来超高齢社会の中で歯科医師としてのキャリアをスタートさせる学生にとっては大変実りある時間になったものと確信しております。続いて、本学医学部の同窓生である穂坂路男先生に「富士北麓地域における多職種在宅チーム医療の試み」と題して、山梨県の富士北麓地域における医療連携の取り組みについてご講演いただきました。2日目には本学薬学部薬学教育学講座 木内祐二教授に「昭和大学における体系的、段階的な学部連携教育」として本学における学部連携病棟実習、学部連携地域医療実習を頂点とした低学年からの体系的なチーム医療教育についてご講演いただきました。その他、国立がんセンター中央病院歯科 上野尚雄先生からは「がん治療における歯科の支持療法」として、がん専門病院における医科歯科連携によるがん治療の最前線の取り組みについて、東京都健康長寿医療センター研究所 平野浩彦先生からは「認知症の口を支える基礎知識」として、認知症患者特有の口腔の問題と最新の知見についてご講演いただきました。本コンソーシアムの活動を通じて、社会が必要とする歯科医療人の養成につながることを期待します。

本シンポジウムの開催にあたりご協力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

健康長寿社会を担う歯科医学教育改革 シンポジウムを開催しました

口腔衛生学部門 弘中 祥司

10月22～23日、上條講堂において歯学教育改革コンソーシアム 平成27年度連携シンポジウムが開催されました。本コンソーシアムは岡山大学が中心となり、11大学と4協力施設により構成され、文部科学省の課題解決型高度医療人材養成プログラムの採択を受け、「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革」を旗印に活動しております。シンポジウムは、ミニシン



永年勤続者表彰式が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

去る11月10日(火)に上條講堂において、学校法人昭和大学の平成27年度永年勤続者表彰式が飯田人事部長の司会で執り行われました。小口勝司理事長から、日本の雇用形態が変わりつつあるなかで、本学は日本的雇用形態を大事にして職員は家族であると考えているので、永年その一員として大学の発展に貢献していただいた永年勤続者に感謝するとの挨拶がありました。

今年度の表彰対象者は昨年度よりも大幅に増えて、勤続35年23名、25年73名、15年94名の合計190名でした。小口理事長から各勤続年代表者に、表彰状と記念品が授与されました。昭和大学宣言に引き続き、校歌を斉唱し、壇上で記念撮影を行いました。

歯学部・歯科病院関係の表彰者は以下の通りです。(敬称略)今後も益々お元気でご活躍されますようお祈り申し上げます。

35年:坂田泰二(歯科病院中央技工室)

25年:成澤英明(歯科理工学), 神田悦子(歯科病院事務課), 土屋二美(歯科病院事務課), 東辻早苗(歯科病院歯科麻酔科), 築地晃枝(歯科病院口腔外科外来)

15年:片岡竜太(歯学教育推進室), 井上富雄(口腔生理学), 柴田 陽(歯科理工学), 高仲尊子(口腔生化学), 今村絵里(歯科薬理学), 稲葉みゆき(口腔解剖学), 山口徹太郎(矯正歯科), 清水有恵(歯科病院手術室), 稲田洋子(歯科病院薬局)



D5学部連携病棟実習が実施されました

口腔衛生学部門 弘中 祥司

4学部の臨床実習学生が全員で各付属病院の一人の患者さんに付添う学部連携病棟実習(I~Ⅲ期)が今年も無事に終了しました。1週間の医学部の病棟実習中に、他の学部が集まり、これまで行ってきた学部連携PBLの経験と各学部での臨床知識を総動員して、真摯に患者さんに向き合っていました。これまでも、あまりに学生たちのプレゼンが良すぎて、

治療方針が一部修正される等、教員や病院職員にも刺激の大きい実習となっております。歯学部学生も、臨床実習が始まるとどうしても口腔内に注目するため、意識しないと全身に目がいかない時期でもあります。そのような中で、他の学部と一緒に全身を考えることは、良い歯科医師経験になることと思います。全身があつての口腔が再認識された1週間となったに違いありません。

今回も、ファシリテータに歯学部の教員も10名ずつ3期に参加してもらいました。また、各付属病院の歯科科室の先生・歯科衛生士さんにも口腔内診察等でお手伝い頂きました。また、もちろん協力いただける患者さんが居てこその実習です。誌面をお借りして、心より御礼申し上げます。



インフルエンザワクチン接種について

総合内科学部門 井上 紳

今年度(2015-2016年シーズン)の東京都のインフルエンザ情報では、第44週(10月26日~11月1日)時点でインフルエンザ患者報告数59人、インフルエンザ様患者による集団感染等の報告が3件ありました。同時期の全国の患者報告数は533人で、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖および集団事例は43週に小学校1件、44週に3件(内訳:小学校2, 中学校1)報告されました。都内の検体ではAH3亜型4件、B型1件が検出されています。今シーズンのインフルエンザ患者の本格的な増加は11月中旬以降と思われる。

現在、ヒトで世界的に流行しているのはA(H1N1)亜型(平成21年に流行した新型インフルエンザ), A(H3N2)亜型(いわゆる香港型), B型の3種類です。歯科病院では11月17日、24日にインフルエンザ予防接種を予定しており、上記に対応したものとなっております。予防の基本は日頃からの十分な休養とバランスのとれた栄養の摂取, 不織布製マスクの着用, 外出から戻った際の手洗い等です。教職員の皆さんはワクチン接種を受けて頂くとともに、怪しいとおもったら総合内科にて迅速診断検査を受けて頂き、陽性の場合は抗インフルエンザ薬の服薬, 規程の自宅待機期間の厳守をお願いいたします。

平成28年度推薦・編入学試験が実施されました

入試常任委員 山本 松男

11月7日(土)に、平成28年度歯学部、薬学部、保健医療学部の推薦入学試験と歯学部の編入学試験が旗の台キャンパスで行われました。本年度より基礎学力テストの理科を、物理基礎・化学基礎・生物基礎から二科目選択するように変更をしました。推薦入学試験(25名募集)の志願者数は46名(昨年度59名)、編入学試験の志願者数は6名(昨年度15名)と、昨年よりも志願者数は減少しました。理科二科目の影響と推察されますが、得点は例年通りで、質の高い生徒を選出できたものと考えております。

基礎学力テストに引き続き、小論文、面接と、多大なるご助力をいただき関係諸氏に深く感謝申し上げます。合格発表は11月10日(火)午後3時に行われ、推薦入学試験では25名(男8, 女17)が、編入学試験では1名(女1)が合格しました。

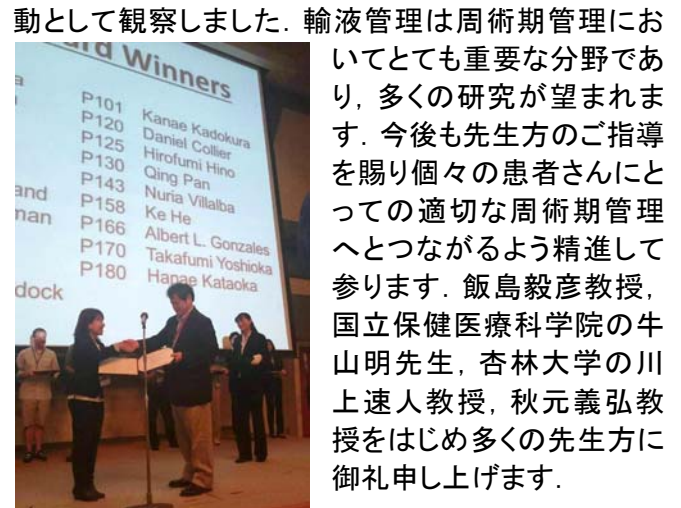
今後の入試日程を表に示します。1月28日(木)の選抜Ⅰ期・センター利用Ⅰ期入学試験の東京会場は五反田のTOCです。教職員の皆様には今後ともご協力のほど、よろしく申し上げます。

入試種別 (募集人員)	出願期間	試験日	合格発表
選抜Ⅰ期 (50名)	12月24日 ~1月19日	1月28日	2月1日
センター利用Ⅰ期 (約10名)	12月24日 ~1月14日	センター: 1月16・17日 面接: 1月28日	2月4日
編入Ⅱ期 (若干名)	12月24日 ~1月14日	センター: 1月16・17日 面接: 1月28日	2月4日
選抜Ⅱ期 (約8名)	2月8日 ~2月18日	2月27日	3月1日
センター利用Ⅱ期 (約3名)	2月8日 ~2月18日	センター: 1月16・17日 面接: 2月27日	3月1日

世界微小循環会議で優秀ポスター賞を受賞しました

大学院4年(歯科麻酔学専攻) 片岡 華恵

世界微小循環会議 10th World Congress for Microcirculationが末松誠大会長の下、9月25日~27日に京都国際会議場で開催され、Best Poster Awardを受賞しました。私の研究テーマは輸液の分野であり、これまで血管内皮の微細構造は主に電顕レベルで検討されてきましたが、その機能を生体内挙



動として観察しました。輸液管理は周術期管理においてとても重要な分野であり、多くの研究が望まれます。今後も先生方のご指導を賜り個々の患者さんにとっての適切な周術期管理へとつながるよう精進して参ります。飯島毅彦教授、国立保健医療科学院の牛山明先生、杏林大学の川上速人教授、秋元義弘教授をはじめ多くの先生方に御礼申し上げます。

国際歯科研究学会日本部会学術大会で学術奨励賞を受賞しました

大学院4年(歯科補綴学専攻) 船登 咲映

10月30日~31日に福岡にて開催された第63回国際歯科研究学会日本部会総会・学術大会(JADR)にて発表いたしました。



JADRは、歯科医学および関連分野の研究の促進を図り、口腔保健の向上に寄与するとともに、社会の公益に寄与することを目的とする学会です。様々な国から様々な歯科分野の発表を見ることができ、とても貴重で有意義な時間を過ごすことができました。初めての学会発表だったこともあり大変緊張しました。私の演題は一般のポスター発表会場とは異なる別室で英語での二次審査を受け、JADR/GC学術奨励賞を受賞させていただくことになりました。身に余る評価を頂き、大変恐縮しております。これまでご指導下さった歯科補綴学講座の馬場一美教授、口腔生化学講座の上條竜太郎教授と宮本洋一准教授、そして多くの先生方や練習を手伝ってくださった方々に、この場を借りて心より感謝申し上げます。今回の発表をきっかけに、より一層歯学研究に精進していきたいと思っております。

行事予定

広報委員長 中村 雅典

11月28日(土):昭和学生会総会

12月8日(土):大学院Ⅰ期入試

認定医・専門医取得

広報委員長 中村 雅典

日本障害者歯科学会 指導医
船津敬弘(障害者歯科部門)

国際ラクトフェリン会議で優秀学生演題賞を受賞しました

大学院4年(口腔衛生学専攻) 森田 優

11月2日～6日に名古屋にて第12回国際ラクトフェリン会議が開催されました。参加者はおよそ国内200名、海外からは150名でした。ラクトフェリンは乳汁、涙液、血液に含まれる蛋白で感染防御、免疫機能の増強に関与することから、その機能と構造について様々な研究がなされております。今回も色々な分野からの発表がみられ、歯科関係からもいくつかみられました。

このたび、「Effects of lactoferrin and Lactoperoxidase-containing tablets on oral hygiene status」が優秀学生演題賞を受賞いたしました。これはラクトフェリンとラクトパーオキシダーゼを配合した錠菓を用いて口腔衛生状態の変化を観察した介入研究であります。この研究が歯科における口腔衛生維持改善への一助となれば幸いです。研究発表にあたり口腔衛生学部門の弘中祥司教授をはじめ、ご指導、ご協力してく



くださった他分野の関係者の方々に、この場をお借りいたしまして深く感謝申し上げます。

旗が岡祭に歯学部有志で出店しました

歯学部5年 丸山 恵莉

10月9日から3日間、旗の台校舎で第55回旗が岡祭が開催されました。1号館前にメインステージがあり、様々なイベントが開催されました。前の中庭は各部活からの模擬店などがあり、その一角で私たち歯学部有志は2年生～5年生の総勢28名でラーメン屋を出店しました。3日間を通して非常に多くの方々に足を運んで頂き、合計は過去最高の594杯を提供する事ができました。3日目の最後の1杯を作り終えた瞬間のみんなからでた大きな歓声は一生の思い出です。

期間中は卒業した先輩方も来て下さり、その存在に何度も励まされました。これを始めた先輩方は本当に素晴らしい土台を作って下さったのだと感じます。初対面で緊張していた後輩達も、一緒に頑張るうちに意見を出し合ったり、手を貸し合ったりと、気付けば自然にお互いを支え合う仲間となっていました。単なる先輩と後輩という関係ではない「仲間との絆」を共感できたと思います。また最終日には、宮崎歯学部部長と飯島歯学部同窓会長も応援に駆けつけてくださいました。

今回の出店にあたり私たちだけでは出来ないことも沢山ありました。地域の方々や先生方が目に見えな

いところで支えて下さっていました。この場をおかりして歯学部有志一同心から感謝申し上げます。



学生生活指導のための教職員ガイダンスが開催されました

歯学部学生部長 上條 竜太郎

平成27年11月13日、上條講堂で「学生生活指導のための教育職員ガイダンス」が開催されました。本ガイダンスは、日頃学生教育にご尽力いただいている先生方を対象として、学生教育に関する最新の話題や諸問題、参考となる事例等をご講演いただくもので、平成17年より毎年開催され、本年度で第11回となりました。本年度のガイダンスは、「各学部の教育の現状について」と題して開催され、宮崎 章学生部長(医学部・教授)の開会の辞、小出 良平学長の挨拶に続き、各学部の教育委員長(小川良雄教授、美島健二教授、原 俊太郎教授)よりお話しをいただきました。いずれも日々の学生教育に直結する興味深いお話しで、非常に有意義なガイダンスとなりました。

受賞

広報委員長 中村 雅典

- ・第10回世界微小循環会議
優秀ポスター賞 片岡 華恵(歯科麻酔学部門)
- ・第63回国際歯科研究学会日本部会総会学術大会
学術奨励賞 船登 咲映(歯科補綴学講座)
- ・第12回国際ラクトフェリン会議
優秀学生演題賞 森田 優(口腔衛生学部門)
- ・第52回日本口腔組織培養学会学術大会
日本口腔組織培養学会賞
上條竜太郎(口腔生化学講座)
ベストプレゼンテーション賞
長濱 諒(歯科矯正学講座)
平沼克洋(歯科麻酔科学部門)

編集後記 口腔微生物学講座 深町 はるか

本号では、大学院生の受賞のニュースをお伝えいたしました。日頃から真摯に研究に取り組み続けた努力の賜物だと思います。今回の経験を糧に一層のご活躍を期待しております。

末筆となりましたが、ご多忙中、ご執筆頂きました先生方に深謝申し上げます。